

はしかの抗体検査について

ウェルエイジング京橋循環器クリニック

赤石 誠

はしか(麻疹)流行のニュースを見て、麻疹のワクチンに関心が集まっています。かつては小児のうちに麻疹に感染し、自然に免疫を獲得するのが通常でした。しかし、麻疹ワクチンの接種率の上昇で自然に感染する人は少なくなってきました。そのため、幼少時にワクチンを1回しか接種していない人は、時間の経過とともに免疫が徐々に弱まって、若い世代に、麻疹の流行が起きたことがあります(2008年頃)。その後、2008年4月から2013年3月にかけて、定期の予防接種の接種機会が1回であった中学1年生相当の年齢の方(3期)と高校3年生相当の年齢の方(4期)を対象に、時限措置として2回目の接種を実施し、その後当該年齢層の抗体保有率が上昇し、麻疹の発生数は大幅に減少しました。

また、1期、2期の定期接種の積極的な勧奨を行い、2015年3月、日本はWHOより麻疹の排除が達成されたとの認定を受けました。現在でも、その状態を維持しています。現在では2歳以上の全年代において、抗体保有率は95%以上に保たれています。

当院では、抗体が十分にあるか否かを見るための、抗体検査を実施しています。

抗体検査だけで来院なさる方の初診料、検査実施料ならびに判断料は合計5500円です。それに加えて個別の検査料金がかかります。

抗体検査で抗体量が不十分であれば、ワクチンを接種するとよいと思います。麻疹のワクチンは2回接種する必要があります。

はしかにかかった人について

一度典型的な麻疹を発症した人は、生涯にわたる免疫(終生免疫)が獲得され、再び麻疹を発症することはありません。極めてまれに、高齢になってから麻疹を発症することが報告されていますが、例外的です。そのため、以前麻疹にかかったということが確かであれば、再度ワクチン接種をする必要はありません。ただし、0歳児で発症した場合は、免疫の維持が不十分である可能性がありますので、接種を考慮した方がよいと考えられます。また、時に、麻疹と思いこんでいた病気が、発熱、発疹が出現する他の病気(たとえば、風疹や川崎病など)と混同されている場合がありますので、注意してください。

当院の抗体検査価格表

税込価格

抗体検査初診基本セット(診察料+手技料+判断料)	5,500 円
麻疹ウイルス抗体 (IgG EIA 法)	2,200 円
風疹ウイルス抗体 (IgG EIA 法)	2,200 円
流行性耳下腺炎抗体 (IgG EIA 法)	2,200 円
水痘・帯状疱疹ウイルス抗体 (IgG EIA 法)	2,200 円
B型肝炎ウイルス抗体 (CLEIA 法)	1,100 円
B型肝炎ウイルス抗原 (CLEIA 法)	1,100 円
C型肝炎ウイルス抗体 HCV 第3世代	1,100 円

当院のワクチン接種価格表	税込価格
麻疹・風疹混合ワクチン	12,000 円
流行性耳下腺炎抗体	5,500 円
水痘・帯状疱疹ワクチン	8,000 円
帯状疱疹ワクチン (シングリックス)	22,000 円
B型肝炎ワクチン	6,700 円
日本脳炎ワクチン	8,000 円
三種混合ワクチン (破傷風・百日咳・ジフテリア)	7,000 円
肺炎球菌ワクチン	8,800 円
インフルエンザワクチン	4,000 円

帯状疱疹ワクチンは、補助金を受け取ることができる場合があります。肺炎球菌ワクチンは、一生に一度、年齢によって助成が受けられます。

※当院で、帯状疱疹ワクチンを接種しても、補助金は給付されません。対象外です。助成金につきましては各市町村へお問い合わせください。

中央区	https://www.city.chuo.lg.jp/a0031/kenkouryou/iryou/yobousesshu/taijohoushin.html
千代田区	https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kenko/kenko/yobosesshu/taijohoshin-josei.html
港区	https://www.city.minato.tokyo.jp/hokenyobou/yobousessyu/taijyouhoushin.html